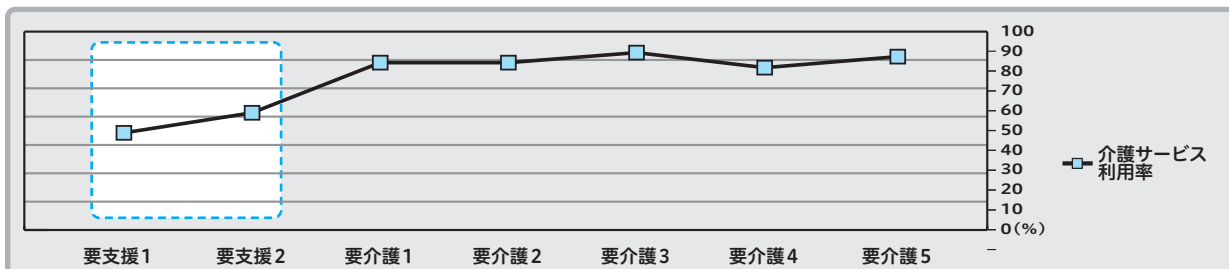


## 介護のいまをろう④

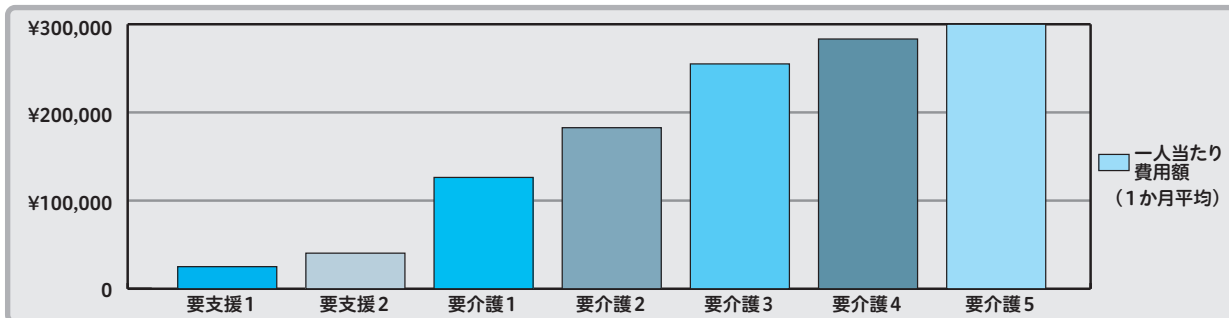
### 高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して、元気に、暮らし続けることができるまちづくりを進めるために

#### ○住み慣れた家庭で安心して暮らし続けるには？



上のグラフを見ると、要介護認定者は90%前後と高い割合でサービスを利用していますが、要支援認定者(部分)は50~64%と要介護認定者に比べると低い割合であることがわかります。要介護に認定された人の多くが、訪問介護や通所介護のサービスを利用していますが、要支援の認定を受けた人は、福祉用具(ベッドや押し車など)や住宅改修(手すり、段差解消)のサービスのみを利用し、住み慣れた自宅で毎日の生活ができています。

#### ○要支援と要介護では自己負担費用もこんなに違います！



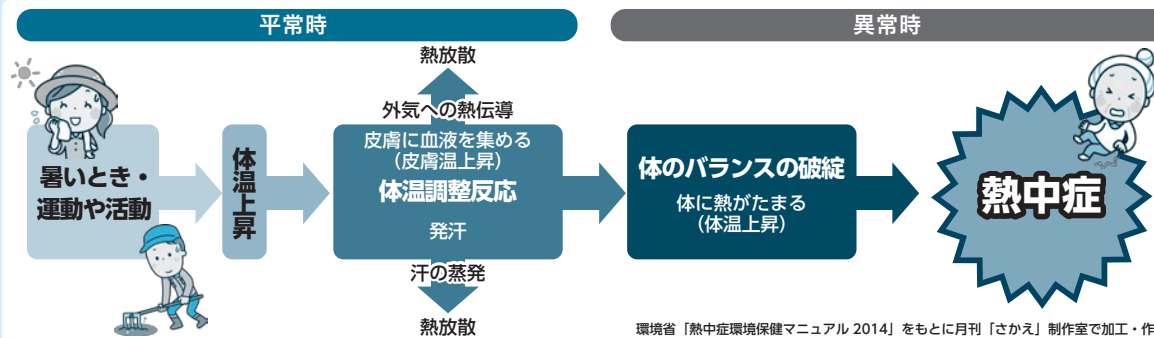
介護度が高くなると、

|      |         |   |      |          |   |       |
|------|---------|---|------|----------|---|-------|
| 要支援1 | 27,890円 | → | 要介護1 | 129,201円 | と | 約4.6倍 |
| 要支援2 | 43,970円 | → | 要介護1 | 129,201円 | と | 約2.9倍 |

介護予防に取り組み、要支援の人が多くなるようにできれば…費用の負担も多くならずに済みます。

## 水分補給と熱中症予防その2

熱中症は、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が壊れた場合に起こります。どのような経過で起こるのかは、下図のとおりです。



このような症状は自覚症状がない状態で進む場合もありますので、予防に努める必要があります。「熱中症予防のための水分補給」について6月号に掲載していますので、確認してください。